

歯科衛生統計

Statistics for Oral Health

1 単位 (必修) 2 年 (後期)

日野出 大輔 (授業責任者)・教授 / 口腔保健学科 口腔保健基礎学講座, 吉岡 昌美・准教授 / 口腔保健学科 口腔保健福祉学講座

【授業目的】 疫学と EBM の概念を理解し、臨床や地域保健の場で得られた情報を客観的に分析して評価する能力を修得する。

【授業概要】 歯科衛生統計を日常臨床や公衆衛生の場で役立てられるよう、その基本的解説から手順、情報の収集、結果の分析法の実際、歯科疾患の疫学的特徴や評価法について講義を行う。また疫学データにおいて利用頻度の高いノンパラメトリック検定法に関する解説を加え、さらに歯科に関連のある国家統計調査についても教授する。

【授業形式】 講義

【授業方法】 講義形式 (視聴覚教材、プリントなどを適宜用いる。) 統計解析演習では、各自 PC を持参すること。

【授業場所】 月曜 7 時限目 第 6 講義室

【授業テーマ】 [授業テーマ]

【キーワード】 [キーワード]

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 『口腔衛生学』(0.5)

【履修上の注意】 本授業では授業計画の「内容」の欄に各講義事項のキーワードを掲載している。①受講者は各回のキーワードについて事前に予習して理解した内容を簡潔にまとめること。②受講者は毎回受講後に学習成果を基にキーワードについて再度内容を簡潔にまとめること。また予習時の内容と復習時の内容を比較して学習成果を確認すること。③試験は全講義数の 2/3 以上の出席を満たしている者に対して行う。④予習、復習をすることが出席評価に含まれる。

【到達目標】

1. 疫学と EBM の概念を説明できる。
2. 疫学研究を分類できる。
3. スクリーニング検査を説明できる。
4. 適切な検定法を用いて統計学的分析ができる。
5. 主な健康指標を説明できる。
6. 主な保健医療統計を説明できる。
7. 歯科の疫学的指標を説明できる。
8. 優れた研究デザインを用いた論文を理解できる。

【授業計画】

大項目	中項目	内容	到達目標	担当
1. 序論		疫学と EBM の概念 母集団と標本、代表値	1	日野出
2. 疫学	疫学研究	疫学で用いられる指標 (率と比、相対危険度と寄与危険度、オッズ比)	1,2,3,4	〃
3.	〃	記述疫学、分析疫学、介入疫学	〃	〃
4.	〃	スクリーニング検査、パラメトリック検定とノンパラメトリック検定	〃	〃
5.	〃	症例対照研究、コホート研究、無作為化比較試験 (RCT)	〃	〃
6.	〃	統計解析演習	〃	〃
7.	健康指標と保健医療統計	罹患率、有病率、年齢調整死亡率、死因別死亡率、平均寿命と平均余命、人口動態・静態統計、粗出生率と合計特殊出生率、	5,6	〃
8.	〃	患者調査、国民健康栄養調査、歯科疾患実態調査、保健福祉動向調査	〃	〃
9. 歯科衛生統計	歯科の疫学的指標	う蝕の指標	7	吉岡
10.	〃	歯周疾患の指標	〃	〃
11.	〃	口腔清掃状態を表す指標	〃	〃
12.	〃	歯のフッ素症、歯の酸蝕症などの指標	〃	〃
13.	資料読解演習	優れた研究デザインを用いた論文の読解	8	日野出
14.	〃	優れた研究デザインを用いた歯科関連論文の読解	〃	〃
15. まとめ		疫学研究と倫理	1-8	〃

【成績評価】 筆記試験の評価点により総合的に判定する。

評価は 100 点満点で 60 点以上を合格とする。

【再試験】 必要に応じて行う。

【教科書】

- ◇ 口腔衛生学 -口腔保健統計を含む-, 歯科衛生士テキスト 学建書院 第 1 版, 2008
- ◇ 医療職のための公衆衛生・社会医学 第 2 版, 長谷川友紀他編集, 医学評論社, 2009

【参考書】

- ◇ 初めて学ぶやさしい疫学 第3版, 南江堂, 2005
- ◇ 保健生態学, 医歯薬出版, 2007
- ◇ 歯科衛生の動向 2010/2011, 医歯薬出版, 2010

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217318>

【連絡先】

- ⇒ 日野出 (088-633-7543, hinode@dent.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](#) (オフィスアワー: 月~ 金 17:00~ 18:00 / 5F 口腔保健学科・教授室)
- ⇒ 吉岡 (088-633-9171, masami@dent.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](#) (オフィスアワー: 月~ 金 17:00~ 18:00 / 6F 口腔保健学科・第1研究室)

Statistics for Oral Health

1 unit (compulsory) 2nd-year(2nd semester)

Daisuke Hinode(Manager) · PROFESSOR / FUNDAMENTAL ORAL HEALTH SCIENCE, SCHOOL OF ORAL HEALTH AND WELFARE, Masami Yoshioka · ASSOCIATE PROFESSOR / ORAL HEALTH SCIENCE AND SOCIAL WELFARE, SCHOOL OF ORAL HEALTH AND WELFARE

Target) 疫学とEBMの概念を理解し、臨床や地域保健の場で得られた情報を客観的に分析して評価する能力を修得する。

Outline) 歯科衛生統計を日常臨床や公衆衛生の場で役立てられるよう、その基本的解説から手順、情報の収集、結果の分析法の実際、歯科疾患の疫学的特徴や評価法について講義を行う。また疫学データにおいて利用頻度の高いノンパラメトリック検定法に関する解説を加え、さらに歯科に関連のある国家統計調査についても教授する。

Style) Lecture

Manner) 講義形式(視聴覚教材、プリントなどを適宜用いる。) 統計解析演習では、各自PCを持参すること。

Location) 月曜 7時限目 第6講義室

Theme) [授業テーマ]

Keyword) [キーワード]

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) “Oral Health”(0.5)

Notice) 本授業では授業計画の「内容」の欄に各講義事項のキーワードを掲載している。①受講者は各回のキーワードについて事前に予習して理解した内容を簡潔にまとめること。②受講者は毎回受講後に学習成果を基にキーワードについて再度内容を簡潔にまとめること。また予習時の内容と復習時の内容を比較して学習成果を確認すること。③試験は全講義数の2/3以上の出席を満たしている者に対して行う。④予習、復習をすることが出席評価に含まれる。

Goal)

1. 疫学とEBMの概念を説明できる。
2. 疫学研究を分類できる。
3. スクリーニング検査を説明できる。
4. 適切な検定法を用いて統計学的分析ができる。
5. 主な健康指標を説明できる。
6. 主な保健医療統計を説明できる。
7. 歯科の疫学的指標を説明できる。
8. 優れた研究デザインを用いた論文を理解できる。

Schedule)

大項目	中項目	内容	到達目標	担当
1. 序論		疫学とEBMの概念 母集団と標本、代表値	1	日野出
2. 疫学	疫学研究	疫学で用いられる指標(率と比、相対危険度と寄与危険度、オッズ比)	1,2,3,4	〃
3.	〃	記述疫学、分析疫学、介入疫学	〃	〃
4.	〃	スクリーニング検査、パラメトリック検定とノンパラメトリック検定	〃	〃
5.	〃	症例対照研究、コホート研究、無作為化比較試験(RCT)	〃	〃
6.	〃	統計解析演習	〃	〃
7.	健康指標と保健医療統計	罹患率、有病率、年齢調整死亡率、死因別死亡率、平均寿命と平均余命、人口動態・静態統計、粗出生率と合計特殊出生率、	5,6	〃
8.	〃	患者調査、国民健康栄養調査、歯科疾患実態調査、保健福祉動向調査	〃	〃
9. 歯科衛生統計	歯科の疫学的指標	う蝕の指標	7	吉岡
10.	〃	歯周疾患の指標	〃	〃
11.	〃	口腔清掃状態を表す指標	〃	〃
12.	〃	歯のフッ素症、歯の酸蝕症などの指標	〃	〃
13.	資料読解演習	優れた研究デザインを用いた論文の読解	8	日野出
14.	〃	優れた研究デザインを用いた歯科関連論文の読解	〃	〃
15. まとめ		疫学研究と倫理	1-8	〃

Evaluation Criteria) 筆記試験の評価点により総合的に判定する。評価は100点満点で60点以上を合格とする。

Re-evaluation) 必要に応じて行う。

Textbook)

- ◇ 口腔衛生学 -口腔保健統計を含む-, 歯科衛生士テキスト 学建書院 第1版, 2008
- ◇ 医療職のための公衆衛生・社会医学 第2版, 長谷川友紀他編集, 医学評論社, 2009

Reference)

- ◇ 初めて学ぶやさしい疫学 第3版, 南江堂, 2005
- ◇ 保健生態学, 医歯薬出版, 2007
- ◇ 歯科衛生の動向 2010/2011, 医歯薬出版, 2010

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217318>

Contact)

- ⇒ Hinode (+81-88-633-7543, hinode@dent.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](#) (Office
Hour: 月~ 金 17:00~ 18:00 / 5F 口腔保健学科・教授室)
- ⇒ Yoshioka (+81-88-633-9171, masami@dent.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](#) (Office
Hour: 月~ 金 17:00~ 18:00 / 6F 口腔保健学科・第1研究室)